

【様式 02】高大連携公開講座シラバス

* 科目 No. 21206

1. 開設大学	広島大学 教育学部		開講場所 (キャンパス・施設)	東広島キャンパス		
2. 科 目 名	ものづくりを通して社会の問題を解決しよう					
	学問分野	番 号	31、33、14	名 称	工学、農学、教育学	
3. 担当教員	木村 彰孝、川田 和男、鈴木 裕之 教育学研究科					
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	平成 30 年 8 月 20 日 (月) ～ 平成 30 年 8 月 22 日 (水) 10 時 00 分 ～ 15 時 00 分 (50 分×12 回、休憩を含む)					
個別開講日	1 回目 8/20	2 回目 8/21	3 回目 8/22	4 回目	5 回目	6 回目
	7 回目	8 回目	9 回目	10 回目	11 回目	12 回目
5. 募集定員	20 人					
6. 科目内容・ 授業計画	この講座では、社会の問題として、高齢者や支援を必要とする方が日々の生活の中で抱える問題をテーマとし、それらを解決するための製品の構想・設計・製作を行います。この講座を受講することで、製作品の構想・設計・製作に必要な基礎的な知識・技能を習得することに加え、生活や社会の中に潜んでいる様々な問題に気づくこと、気づいた問題の中からものづくりを通して解決する課題を決定し、学習した知識・技能を基に工夫しながら製作品を構想・設計・製作することで社会の問題を解決することができる能力や態度を身につけて欲しいと考えています。 講座の具体的な内容は、以下の通りです。 1. テーマの中で想定される問題を見つけ出し、ものづくりを通して解決する課題を設定しよう。【1 時間目】 2. 身のまわりの製品に使用されている材料の特徴・種類・加工方法を知ろう。【2・3 時間目】 3. 身のまわりの製品に使用されている計測・制御の仕組みや種類、利用方法を知ろう。【4 時間目】 4. 製作品を丈夫かつ安全なものにするための方法を知ろう。【5 時間目】 5. 制約条件の中で課題を解決するための製作品を設計しよう。【6・7 時間目】 6. 設計を基に製作品を作ろう。【8～11 時間目】 7. 製作品の発表会を通して、より良いものになるように改善しよう。【12 時間目】					
7. 受 講 料	無料					
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし					
9. 開講条件※1 あり ・ない	① 最少開講人数 (4 人) 定員超過の不許可は選考により決定 ② 不許可・不開講通知日 (7 月 13 日 (金) 以前の開講科目は 3 月末まで／7 月 14 日 (土) 以降の開講科目は 6 月末まで)					
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと 作業を行いますので、汚れてもいい作業のしやすい服装・履物で臨んでください。 無線 LAN が利用できるノート PC をお持ちの方は持参して下さい (お持ちでない場合はこちらで準備します)。					
11. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/→広島大学→交通アクセス→東広島キャンパス 広島大学教育学部 https://www.hiroshima-u.ac.jp/ed					

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。